
[成果情報名] カキ「秋王」の収穫適期

[要約] カキ「秋王」は、開花盛期から収穫始期までの登熟日数が165日に当たる11月1日頃から収穫を開始できる。収穫盛期までの登熟日数は172日程度であり、サクサクとした食感が維持できる11月21日までが収穫適期である。

[キーワード] 秋王、カキ、新品種、収穫適期

[担当部署] 果樹部；果樹育種チーム

[連絡先] 092-922-4946

[対象項目] 果樹

[専門項目] 栽培

[成果分類] 技術改良

[背景・ねらい]

本県で育成したカキ新品種「秋王」は大果・高糖度で食味が優れており、産地への導入が進んでいる。果皮色、果肉硬度、糖度から総合的に判断して収穫を実施しているが、収穫適期の目安がないため、食感の悪い果実の混入が出荷・販売上の問題となっている。

そこで、「秋王」の収穫適期を設定するため、収穫時期別の果皮色、糖度等の果実諸形質の特性を明らかにする。

(要望機関名：園芸振興課、久留米普 (H22))

[成果の内容・特徴]

1. 「秋王」果実は10月中旬から11月中旬にかけて経時的に果皮色、果実重、糖度が上昇するのに対し、果肉硬度は低下する。「秋王」の収穫の目安となる果皮色が5程度、果肉硬度が1.4kg以下、糖度が17以上に達するのは、開花盛期から収穫始期までの登熟日数が165日に当たる11月1日以降である(図1、表1、一部データ略)。
2. 開花盛期から収穫盛期までの登熟日数は172日である。11月下旬以降に収穫した果実は果肉硬度が1.0kg未満となり、サクサク感が少ない(図1、表1、一部データ略)。
3. 「秋王」の軟化までの日数は、11月1日～11月21日に収穫した果実では16～26日であるが、この前後に収穫した果実では短く、10月21日収穫では6日、11月30日収穫では9日と短い(表2)。
4. 果実外観および食味、軟化までの日数から、「秋王」の品種特性が発揮される収穫適期は11月1日～11月21日の期間内にある(図1、表1、表2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 「秋王」の収穫基準の資料として活用できる。
2. 「秋王」の果実特性は福岡県筑紫野市の調査データ。
3. 適期前に着色が進んだ「秋王」は、異常成熟である可能性が高く軟化しやすい。

[具体的データ]

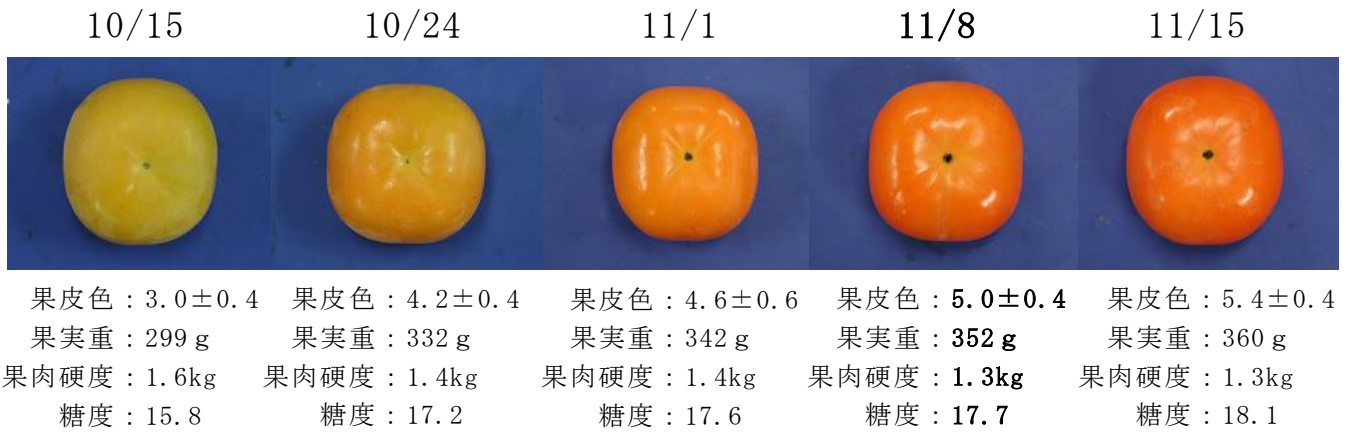


図1 「秋王」果実特性の経時的変化（平成28年）

注）果皮色は果頂部カラーチャート値

表1 「秋王」の生育特性（平成26～28年）

年次	開花盛期 (月/日)	収穫始期 (登熟日数)	収穫盛期 (登熟日数)	果皮色 (果頂部)	果実重 (g)	果肉硬度 (kg)	糖度 (Brix)
平成26年	5/21	10/30 (162)	11/6 (169)	5.5	371	1.1	16.4
平成27年	5/18	11/2 (168)	11/9 (175)	6.0	458	1.0	17.1
平成28年	5/19	11/2 (167)	11/8 (173)	5.0	337	1.3	17.6
平均	5/19	11/1 (165)	11/8 (172)	5.5	389	1.1	17.0
富有(参考)	5/19	11/10 (174)	11/17 (181)	6.6	310	1.7	16.7

注) 1. 果皮色(果頂部カラーチャート値)、果実重、果肉硬度、糖度は収穫盛期のデータ

2. 樹齢は平成26年で7年生、平成28年で9年生

3. 富有は平成26年～28年(樹齢35年～37年)の平均値

表2 「秋王」果実の軟化までの日数（平成28年）

収穫日	軟化までの日数
10月21日	6.1
11月1日	16.3
11月11日	25.5
11月21日	20.5
11月30日	9.1

注) 1. 各収穫日とも果頂部がカラーチャート値5の果実を供試

2. 室温下で保存し、指で押してへこむ状態を軟化までの日数とした

[その他]

研究課題名：かき新品種「秋王」の早期成園化および結実安定技術の開発

予算区分：県特（かき新品種普及拡大事業）

研究期間：平成28年度（平成26～28年）

研究担当者：白石美樹夫、朝隈英昭